

学年	教科等	単元名	日時
第5学年	外国語活動	Where is the treasure? 位置と場所	令和2年1月31日(金)

「深い学び」のある授業を創造するために、下記の手立てを取りました。

○ 相手意識を醸成する表現づくりの工夫

- 自分の表現だけでなく、級友の表現も考えるようにする。
 - 子ども同士で質問やアドバイス等を行わせたり、自分の表現だけでなく級友の表現も考えさせたりすることで、級友が伝えたいことに関心をもち、相手意識が徐々に醸成されていくのではないか。
 - 「できるだけ分かりやすく道案内をしたい」「間違わないように目的地まで連れていきたい」「宝物を大事にしている理由まで伝えたい」といった話し手の思いを汲み取りながら、聞き手も、道案内を分かりやすく伝えるための表現を話し手と一緒に考える経験を積むなかで、相手意識が徐々に醸成されていくのではないか。

○ 表現力の高まりを実感させるふりかえりの工夫

- 学習のなかで気付いた表現の工夫や級友からの効果的なアドバイスを学習プリントのふりかえりとして書かせ、それらを継続して次時学習で紹介するようにする。
 - 活動のなかで自分や級友の選んだ英語や非言語による表現等のよいところに気付かせたり、自分でも使ってみたいと思う気持ちをもたせたりすることができるのではないか。
- 単元のゴールと同じやり取りをし、そのなかで英語や非言語による表現等を繰り返し使う、変える、付け加えるなどの工夫をさせる。その後、班で意見交換をさせることで、アドバイスを活かしながら、表現を高められるようにする。
 - 自分や級友の表現力の高まりを実感することができるのではないか。
- 代表ペアのやり取りを全体で視聴し、よいところを共有させ、本時めざす姿とはどのような姿なのか、学級の全員が共有したうえでふりかえりをさせる。
 - 全員が自他の表現力の高まりを感じることはできるのではないか。

子どもの姿と考察

○ めあてをたてる場面

- 目的を確認したことで、「学級の人みんなに分かりやすく伝えたい」「どんな表現をすれば分かってもらえるかな」という思いをもっていた(板書写真の赤枠の部分)。教師がモデルを見せることで、紹介したい宝物に対してどんな思いが込められているかを考える手立てを取り入れたが、5年生に対してはかなり高度な英語表現も含まれていたため、教師が事前にもっと分かりやすい表現を考えておくべきであった。

○ ペアやグループで表現づくりをする場面

- 話し手も聞き手も、相手の表情から伝わっているかを確認するために、相手の目を見ながらコミュニケーションをとることができた。
- 自分で英語に言い換えたり、級友のアドバイスを受け入れたりする姿があった。
- ペアからグループへ移動し、表現力の高まりを実感できている子どもも見られたが、その反面、表現が変わらない子どももいた。教師の見取りと全体への共有が必要である。
- 宝物を紹介するときのポイントを意識して、ゆっくり話したり、繰り返し話したりするなど、分かりやすく伝える工夫をアドバイスする子どもが多く見られた。(板書写真の黄枠の部分)。

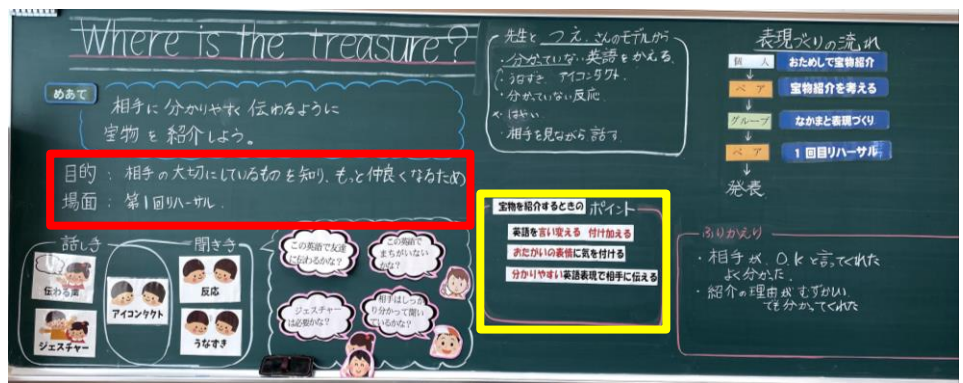
○ 代表ペアの発表を視聴する場面

- アイコンタクトや英語での反応、分かりやすい英語表現ができていた等のよいところを発表していた。

「特徴」って英語で言うと...



Maniac points でいいんじゃない?



実践をふりかえって

英語で表現するなかで、難しい単語を分かりやすい表現に変えていくことを、子どもに意識させて単元の指導を行ってきた。子どもは既知の知識を活用して伝わりやすい英語表現を考えることができた。ふりかえりの前に代表の子どもたちのよいところを発表することは有効であった。級友の宝物に対する気持ちまで汲み取って聞こうとする聞き手が増えてきており、「Very much をつけたらいいね」というような、表現を高めるアドバイスを子どもも見られた。また、ペアからグループが変わり、そこで級友からもらったアドバイスによって、自分の表現がより分かりやすいものになったという記述が学習プリントのふりかえりのなかで多数見られた。しかし、教師や子どもが使う英語が少ないのではないかという意見もあった。英語表現を使う言語活動の場面をさらに増やすことができるように、指導の改善を図りたい。

御意見・御質問はこちら(研究部アドレス)

miyafuken@cc.miyazaki-u.ac.jp

授業実践計画

○ 単元指導計画（8時間）

段階	主な学習活動及び学習内容	教師のかかわり	具体的な評価規準
生み出す(3)	<p>1 物の場所や、物の位置関係を表す英語の語句や表現を聞いたり言ったりする。</p> <p style="text-align: right;">＜3時間＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ポインティングゲーム ○ 道案内のチャンツ <p>まっすぐに進むときは、“Go straight.”でいいかな。 Onと聞こえたから机の上なんだな。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元のゴールで、級友の宝物について知り、身近な人のよさを発見できることを確認することで、伝え合う期待感をもてるようにする。 ○ 聞き取れたことや繰り返し出てきた表現等について確認し、繰り返して言わせることで、場所を表す語句や表現に慣れ親しむことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 物の場所や物の位置関係を表す英語の語句や表現を知り、それを使おうとしている。 <p style="text-align: right;">(態度)</p> <p style="text-align: right;">【行動観察】</p>
挑む(3)	<p>2 建物の言い方や、道案内をするときに使う英語の語句や表現に慣れ親しむ。</p> <p style="text-align: right;">＜1時間＞</p> <p>右と左を間違えないように説明しよう。 進み続けるときは、“Keep going.”って言っているぞ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 聞き取れたことや繰り返し出てきた英語について確認することで、道案内の内容を推測しやすいうにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 音声で十分に慣れ親しんだ英語の語句や表現を使っている。 <p style="text-align: right;">(知・技)</p> <p style="text-align: right;">【行動観察・記述分析】</p>
	<p>3 教科書の地図を使って地図上で道案内することに慣れ親しむ。</p> <p style="text-align: right;">＜1時間＞</p> <p>ちょっとだけ進むときは“A little bit.”を加えると伝わるかな。 “Turn right.”と聞こえたら、右を向くように気を付けよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 相手の立場に立って宝物まで案内する道順を考えさせることで、より分かりやすく道案内ができるように意識を高めることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 英語の語句や表現を使い、地図上での道案内に慣れ親しんでいる。 <p style="text-align: right;">(知・技)</p> <p style="text-align: right;">【行動観察・記述分析】</p>
本時	<p>4 自作の地図上で道案内することに慣れ親しむ。</p> <p style="text-align: right;">＜1時間＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地図の確認 ○ 道案内についての表現づくり <p>“Keep going.”だから、そのまま進んでみよう。 “Turn left.”→“Go straight.”だから左方向にまっすぐ進めばいいかな。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 相手に伝わりにくいモデル（難しい英語表現や相手の理解の様子を考えない道案内）を教師が紹介することで、相手に分かりやすく伝わる道案内を、既習の英語の表現等から組み合わせさせて考えられるようにする。 ○ 学習のなかで気付いた表現の工夫や仲間からの効果的なアドバイスをふりかえらせることで、表現力の高まりを実感できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 宝物の場所までの道案内を、慣れ親しんだ英語から選んで表現している。 <p style="text-align: right;">(思・判・表)</p> <p style="text-align: right;">【行動観察・記述分析】</p>
	<p>5 宝物の場所や大切にしている理由を伝える表現づくりをする。</p> <p style="text-align: right;">＜1時間＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 第1回リハーサル <p>宝物の大切さをどう伝えたらいいかな。 Because.を使って言ってみよう。 赤ちゃんのときにもらったものだから、“Baby season.”で伝わるかな。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教師によるモデルからの気付きを共有することで、自分たちの表現を考えるときに生かすことができるようにする。 ○ 表現づくりの途中で、以下のことに気を付けているペアに、全体で発表させることで、相手に分かりやすく伝えるために、話し手と聞き手が伝え合うための工夫を意識できるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・級友に伝わる英語を使うこと ・聞き手の態度や表情に気を付けること ・必要に応じてジェスチャー等を使って伝えること ・聞き直したり英語を訂正したりしながら聞くこと </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 宝物の場所までの道案内や、大切にしている理由を伝えるために、英語等を選んだり変えたりしている。 <p style="text-align: right;">(思・判・表)</p> <p style="text-align: right;">【行動観察・記述分析】</p>
生かす(2)	<p>6 道案内をする。</p> <p style="text-align: right;">＜1時間＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 最終リハーサル ○ 全体で発表 <p>リハーサルを思い出して、分かりやすく伝えるように発表をしよう。 ○○さんが宝物をずっと大切にしていることが伝わってくるな。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 発表のなかで、分かりやすく伝えるための英語の語句や表現等を見付け、発表させることで、学級全体で相手に分かりやすく伝える工夫を共有できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 相手に分かりやすく伝わるように工夫しながら、宝物の場所や大切にしている理由を伝えようとしている。 <p style="text-align: right;">(態度)</p> <p style="text-align: right;">【発表観察・記述分析】</p>

○ 本時の目標

宝物の場所までの道案内をしたり、大切にしている理由を相手に分かりやすく伝わるかを考えて表現したりすることができる。

○ 指導過程

学習活動及び学習内容	教師のかかわり
<p>1 道案内や宝物の紹介をする「目的」、「場面や状況」を確認し、本時のめあてを設定する。</p> <p>目的: 互いが大切にしているものやその理由を知るため。 場面や状況: 本番に向けて1回目のリハーサルをする。</p> <p>○ 本時のめあて 分かりやすく伝わるように道案内や宝物の紹介をする表現づくりをしよう。</p> <p>2 教師と代表児童によるモデルを視聴し、道案内や宝物の紹介をする表現を考え、ペアで伝え合う。</p> <p>T: Let's go to the treasure hunting! C: O.K. T: Go straight...(道案内をする) T: You found my treasure! (袋に入れた宝物を見せる) T: Look at this. This is my treasure. C: What is this? T: This is a rugby ball (嬉しそうにボールを見せる) T: Whose signature is this? C: Team Japan? T: That's right! This is a signed ball from the old Japan national team. T: I got it when I was a junior high school student.</p> <p>3 班を作って、よいところや付け加えた方がよい表現を話し合い、元のペアでリハーサルをする。</p> <p>○ 道案内や宝物の紹介をする表現について、級友に伝える工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 級友に伝わる英語を使うこと ・ 聞き手の態度や表情に気を付けること ・ 聞き手の様子を見て理解しているかを確認し、必要に応じてジェスチャーやアイコンタクト等の非言語を使って伝えること ・ 分からない言葉を聞き直したり、間違った英語を訂正したりしながら聞くこと <p>4 代表ペアのやり取りを全体で視聴する。</p> <p>○ 表現づくりの視点を意識しての視聴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「英語を付け加えたら分かりやすくなったな。」 <p>5 本時の学習をふりかえる。</p> <p>○ ふりかえりの内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分や仲間の表現の工夫 ・ 仲間と一緒に考えたり教え合ったりする姿 ・ 次時がんばりたいことや楽しみなこと 	<p>○ 友達の宝物について知り、身近な人のよさを発見できることを確認することで、伝え合う期待感をもたせるようにする。</p> <p>○ 前時の学習プリントのふりかえりから、分かりやすく伝えようとする記述を紹介することで、表現づくりへの意欲を高めさせることができるようにする。</p> <p>○ 表現づくりの視点を確認し、教師によるモデルからの気付きを共有することで、自分たちの表現を考えるときに活かすことができるようにする。</p> <p>表現づくりの視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 分かりやすい英語表現で相手に伝わるようにする。 ・ 宝物を紹介するときの互いの表情に気を付ける。 ・ 英語等を言い変えたり、付け加えたりする。 <p>○ 紹介する宝物について、ペアや班の仲間と表現づくりをするという見通しをもたせることで、1人ではなく仲間と共に考えられるという安心感をもてるようにする。</p> <p>○ 班活動により、多くの級友と伝え合う活動をさせることで、アドバイスを活かしながら、表現を高められるようにする。</p> <p>○ 机間指導をしながら、学習活動3で示しているような、級友に伝わりやすい表現をしている子どもを手本として示すことで、もっと分かりやすく表現しようとする意欲を高められるようにする。</p> <p>○ 元のペアでリハーサルをし、互いの変容を表現づくりの視点と照らし合わせて確認し、伝え合わせることで、ペアや班活動によって、互いの表現力が高まったことを実感できるようにする。</p> <p>○ めあてに立ち返り、本時でめざす姿や代表ペアのよいところを全員に共有させることで、表現力の高まりについてふりかえることができるようにする。</p> <p>○ ふりかえりの際に、仲間からのアドバイスを想起させ、表現力の高まりを実感させることで、次時への意欲を高められるようにする。</p>

○ 本時の評価規準

宝物の場所までの道案内や、大切にしている理由を伝えるために、表現づくりの視点を意識して英語等を選んだり変えたりしている。
(思考・判断・表現) 【発表観察・記述分析】